

Trans Japan Alps Race 2012 大会要項

◇はじめに(大会概要とスタイル)

日本海/富山湾を午前零時にスタートし
北アルプスから中央アルプス、そして南アルプスを越え
太平洋/駿河湾までの距離:約415Kmの道程を
交通機関を一切使わず、自身の足(走り、歩き)のみで
1週間以内(+予備日1日)に踏破することをめざす
ちょっとハードな山岳アドベンチャーレースです。
山小屋や旅館等で宿泊したり、家族や友人等にサポートしてもらったりしては
面白さが半減してしまうため、競技ルールを厳しく設定しました・・・



コース概要

1.開催期間:2012/8/05~2012/8/11(8/12:予備日)

2.コース概要と関門:

- ・集合 日本海/富山湾・早月川河口[8/04 22:00]
- ・スタート 日本海/富山湾・早月川河口[8/05 0:00]
- ・日本海/富山湾・早月川河口~馬場島~北ア(剣岳~槍ヶ岳)~上高地CP 関門◎[8/07 8:00 2.5日目]
- ・上高地CP~境峠~木曾駒高原スキー場~中央ア(駒ヶ岳~空木岳)~駒ヶ根~市野瀬CP 関門◎[8/09 17:00 5日目]
- ・市野瀬CP~南ア(仙丈岳~三伏峠CP ◎関門[8/11 9:00 7日目]~茶臼岳)~畑薙第一ダムCP ◎関門[8/12 0:00 8日目]
- ・畑薙第一ダムCP~井川~笠張峠~静岡~太平洋/駿河湾・大浜海岸(ゴール)◎関門[8/12 24:00 8日目]

* 上記に設定した関門◎を、所定の期日/時間までに通過すること。
これをクリアできなかった場合、レースを継続することは出来ない。

* 大会開催中は、TJAR公式ブログによって、選手の動向がリアルタイムで把握できるようにして、選手の行動把握、安全確認等に努める。

3.参加資格:

- ・参加確認書提出時:書類選考条件を満足し、大会実行委員会が承認した者のみ、選手選考会に出場する事が出来る。
- ・選手選考会時:選考会において本大会参加資格(詳細別途)を取得し、大会実行委員会が承認した者のみ、本大会に出場する事が出来る。

4.競技ルール

- ①コース上の指定されたチェックポイント(以下CP)を、走り+歩きのみで忠実に繋ぐこと。
CPを通過しなかったり、交通機関を利用してはならない。
- ②ビバークができる装備(レスキューシート、ツエルト等)を常時携帯すること。
- ③必要な装備類(行動用具、露営用具、炊事用具等)および食料は各自準備し
自ら背負い移動すること。ただし、山小屋や食堂等での食事、商店での食料購入は可とする。
- ④家族や友人等からのサポート(以下の行為)は、市野瀬CPを除いて禁止とする。
 - a.選手および選手の持ち物に触れること
 - b.選手へ、物品の受け渡し(さしいれ等含む)
 - c.選手の荷物搬送
 - d.選手の行動にシンクロイズした伴走・ポイント応援およびそれに類する行為
- ⑤選手への応援は、どこでおこなっても良い。
ただし、④ a~dの行為をおこなってはならない。
- ⑥宿泊は、すべて露営(テント、ツエルト等)のみとする。
山小屋、避難小屋、旅館等での宿泊および仮眠は、禁止する。
ただし、雷や動物等により生命の危機が予測される場合は、一時避難としてそれらを利用してもよい。
- ⑦食料および燃料のデポ(一時預かり)は、コース上に1箇所(市野瀬)のみ設け、重量は7kg以内とする。
また、ここでは不用装備(地図、靴等)の返送も可能とする。詳細別途。
- ⑧下界はもちろんであるが、山中においても常に登山マナー(登山者や山小屋に迷惑をかけない。
自然環境保護に努める・・・)を遵守し、謙虚に行動すること。
- ⑨あらかじめ定められたCPにおいては、大会本部に連絡を入れ、状況報告を行うこと。
- ⑩やむなき事情によりリタイアした場合は、速やかに大会本部に連絡し、指示を仰ぐこと。
- ⑪山岳保険(捜索、救助等を含む)には、必ず加入していること。
- ⑫自己責任の法則 このレースは、参加者自らが主催者である。
レース中に、怪我や事故および遭難等のアクシデントが発生しても
「すべての責任は、自らに帰する」ことを誓約できる方のみ、エントリーが可能。
* 競技ルールをしっかりと尊重してレースをおこなうこと。
これらに反した行為をおこなった場合は、失格とする。速やかに大会本部に報告して指示を仰ぐこと。
誓約書参照。



スタート/日本海 富山・早月川河口

5. 必須装備リスト

標高3,000mの日本アルプスにおいて、1~2泊程度のビバークに耐える装備・食料(以下)を常に持ち歩くこと。

No.	品名
1	ヘッドランプ(予備電池含む)
2	携帯電話(防水処理要、但しdocomo.auのみ)
3	地図、コンパス、筆記具
4	ツェルト(もしくはテント)
5	防寒具(防水処理要)
6	カッパ
7	手袋
8	帽子
9	水、食料
10	登山計画書(防水処理要)
11	山岳保険(写し)、保険証(写し)、車免許証(写し) (すべて防水処理要)
12	シュラフ(もしくはシュラフカバー)

6. 実行委員会

①メンバー

- ・飯島 浩
- ・田中 正人
- ・他数名 募集中

②役割

- 選手への連絡と状況把握
- デポ(一時預かり)品の引渡し、不要装備の返送
- 怪我・事故・遭難等が発生した場合、応急処置はおこなうがそれ以降の対応は一切おこなわない。

7. 募集人数 30名程度

8. 寄付金 10,000円 CPスタッフの宿泊・交通費等に使用する。

9. 本大会エントリーへのフロー

- 参加を希望される方は、参加条件(*別途記載)を満たしている事を確認の後
参加確認書に必要事項を記入し、2012/5/15(火)必着にて、大会実行委員会相談役/岩瀬まで送ること。
メールやファックスでの対応可能。なお、2012/4/1(日)より受付開始する。
- 大会実行委員会は書類選考をおこない
参加を希望される方(以下、選手と記載)に対し、2012/5/31(木)までに選考会へのエントリー可否を連絡する。
- 選考会へのエントリー可の連絡があった選手は、選考会参加申込書に必要事項を記入し
誓約書へ署名・捺印をおこない、山岳保険の写しを添え2012/6/15(金)必着にて、大会実行委員会相談役/岩瀬まで郵送すること。
- 大会実行委員会は選考会計画書を作成し、参加選手に配布する。
詳細は、別途連絡する。
- 選手は、選考会に参加し、選考基準をクリアすることにより、本大会参加資格を得る事が出来る。
- 実行委員会は、本大会参加資格を取得した選手に対して、本大会計画書を配布する。
詳細は、別途連絡する。

◇参加条件(書類選考基準)・・・2011-2012の実績

1. TJAR本大会を想定した長時間行動後、標高2,000m以上の場所において、2回以上の**▽ビパーク体験**があること⇒露営技術
⇒山岳/走力
 2. 1日に、コースタイム20～34.2時間以上の山岳トレイルコースを
コースタイムの55%(11～18時間50分)以下のタイムで走りきれる体力と全身持久力を有すること。
例: 日本山岳耐久レース(71.5km)レベルの大会において、11時間10分以内で完走できること。
 3. フルマラソンを3時間20分以内、100kmマラソンを10時間30分以内で完走できる体力を有すること。⇒平地/走力
 4. 山岳保険(搜索、救助等を含む)に、必ず加入していること。⇒山岳保険加入
 5. リスクマネジメント(危機管理)に対して①事前にリスクを回避する《危険回避能力》⇒リスクマネジメント
②アクシデント発生時に対応できる《事故対応能力》を身につけていること。
 6. 自己責任の法則・・・「すべての責任は、自らに帰する」ことを自覚して行動できること。⇒自己責任の認識
 7. 選考会1ヶ月前までに、医師診断書を提出すること。⇒診断書提出
- ▽ビパーク体験: ツェルト+レスキューシート(もしくはシュラフカバー)のみで、ひと晩を過ごす事。**
ただし、以下のようなビパークは不可とする。
①富士山五合目もしくは乗鞍岳畳平まで車で行き、駐車場でビパーク②中ア・ロープウェイを利用して中岳キャンプ場でビパーク

*必須条件・・・1. 4～7

*書類選考における参考条件(実行委員会が同等の力を有することを認めた者)・・・2. 3.



中央アルプス/宝剣岳にて

10.選手選考会

- ・期日: 2012/7/7(土)～7/8(日)
- ・場所: 南アルプス・北部
- ・コース: 駒ヶ根高原→市野瀬→仙丈ヶ岳→両俣小屋→仙丈ヶ岳→北沢峠→仙流荘
* 途中、両俣小屋にて強制ビパークを行なう
- ・選考内容 a. 山岳フィールド/山での走力+下界/ロードにおける走力(参加条件に準ずる)
b. ビパーク技術
c. 生活技術
d. 読図力
e. 危険予測、回避力
f. その他
⇒詳細内容検討中
- ・人数: 50名程度
- ・寄付金: 5,000円 CPスタッフの宿泊・交通費等に使用する。

11.その他

- a. チェックポイント(以下CP)常駐員募集
・選手の行動把握、安全確認等を目的として、チェックポイント(以下CP)常駐員を募集する。
選考会または本大会において、ボランティアにてCP常駐をお手伝いいただける方は
実行委員会相談役/岩瀬までご連絡ください。
- b. 本大会および選手選考会は、日程・コース・内容等について、余儀無く変更する場合がある。

◇お問い合わせ

以下にお願いします。メールが望ましいです。

Trans Japan Alps Race 2012 実行委員会相談役 岩瀬 幹生

自宅電話/FAX: 0564-62-6671

携帯電話: 090-5610-5774

自宅mail: mikio.iwase@nifty.com

携帯mail: mikio.iwase307@docomo.ne.jp